

証券コード：6928



第54期

中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長

武内 延公

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。第54期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という志を経営理念とし、1962年の創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・樹脂成形加工等広範囲のジャンルの金型技術を確立し、また、日進月歩で軽薄短小化・高機能化・多機能化する市場ニーズに応えるべく、金属とプラスチック

の超微細複合加工技術を確立し、日本のものづくりに貢献して参りました。

特に地球温暖化防止に貢献する省エネルギー関連製品のひとつであるLED（発光ダイオード）に代表されるオプト用リードフレームをはじめ、スマートフォン等のIT機器に搭載されているマイクロピッチコネクタ用部品、また自動運転車やIoTの普及に必須となる各種半導体リードフレームは、今後の

財務ハイライト（連結）

売上高

(単位:百万円)



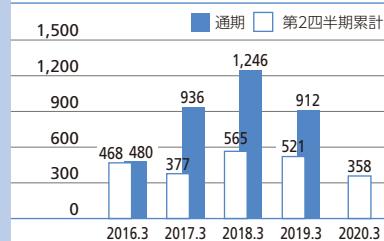
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



社会の発展を支えるキーテクノロジーの一つであると自負しております。また、それらの製品を世界中の主要メーカーに供給していることにより、当社グループが今後とも豊かな社会を実現するために必要な存在であり続けることができるものと信じております。

当社グループが対処すべき課題として、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、当社グループは中期経営方針として『新たな価値の創造～他社が真似のできないものづくりを追求する～』を掲げており、特に年度ごとに経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。2019年度の経営重点テーマは、各自が自らを謙虚に省みることによって過去から学び、それを糧に新たな技術や知識を習得していくというサイクルを端的に表すものとして『学ぶ』を掲げております。

当社グループは、絶えず顧客に信頼される製品を提供し、新製品の開発を行い、この事業を通じて会社の繁栄と社会の発展の一致を期すことを目指しております。また、取引先及び従業員などのステークホルダーの信頼と理解を基礎とし、協力的な風を培い総力を結集して、企業としての安定性、成長性、収益性を高めることを重視しており、激しい国際競争が深まる中、いかなる事態にも迅速に対応でき得る強固な経営基盤を確立し、企業価値の最大化を目指し鋭意努力する所存でありますので、株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解と、今後の事業展開に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



※2017年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。これに伴い、過年度の「1株当たり四半期(当期)純利益」を遡及修正しております。

事業別の概況

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は雇用及び所得環境の改善が続き堅調に推移し、生産合理化や老朽設備の更新を目的として設備投資も緩やかな増加基調を維持していますが、米中貿易摩擦に代表される世界経済の動向の不透明感から全体の景況感は停滞しています。

海外における経済的及び地政学的な諸問題は依然として不安定な状況にあり、急激な変動のリスクを孕んでおり引き続き注視が必要です。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、中長期的には市場規模は堅調に推移する予測ではありますが、足元においては世界経済の不透明感に起因する一時的な停滞局面にあります。

このような状況下、当社グループは従前以上の品質改善と製造コスト低減を目的とした製造工程の自動化及び効率化を組織的に推進し、新たな顧客の開拓を積極的に行うことで売上及び収益力の最大化に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は111億2百万円(前年同四半期比9.4%増)、営業利益は5億7百万円(同6.7%減)となりました。経常利益は5億1百万円(同23.4%減)となりましたが、これは為替変動の影響及び前期は子会社からの受取配当金の計上があったためです。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億5千8百万円(同31.2%減)となりましたが、これは前期は投資有価証券売却益の計上があったためです。

通期の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、海外におきましては米中貿易摩擦の影響による世界的な不透明感が色濃く、国内におきましても日韓関係の諸問題により一部半

導体関連品目に影響が出ておりますが、中長期的に市場が成長を継続するという予測であることは変わりません。

現在、リードフレームの自動車向け部品は安定的な需要を維持している一方で、民生用トランジスタ向け部品は成長に一服感が表出しており従前以上の注視が必要です。

コネクタ用部品は、自動車向け部品が引き続き堅調な需要を維持する見通しです。また、モバイル端末向けの需要は、スマートフォン向け部品については拡大局面にはありませんが一定量の買い替え需要が見込まれ、ウェアラブル端末向け部品等の成長も期待されます。

このような環境下、当社グループは当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースとして過去の枠組みにとらわれない新たな顧客の開拓を積極的に行い、全社一丸となって売上及び収益力の更なる向上に努めて参ります。

通期の連結業績予想

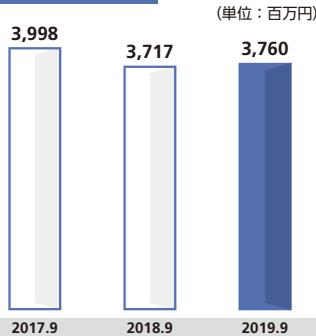
通期の見通しにつきましては当初予想のとおり、売上高210億円(前年同期比0.2%減)、営業利益12億円(同6.0%増)、経常利益12億円(同4.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益9億2千万円(同0.8%増)を見込んでおります。

売上高	21,000百万円
営業利益	1,200百万円
経常利益	1,200百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	920百万円

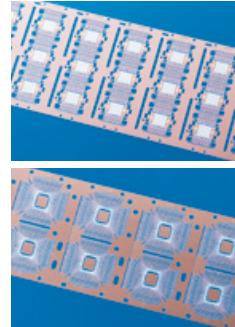
IC・トランジスタ用リードフレーム

売上高 37億6千万円（前年同四半期比1.1%増）

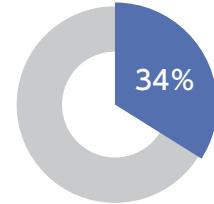
売上高推移



当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車向け部品の需要が引き続き堅調に推移しました。その結果、当製品群の売上高は37億6千万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。



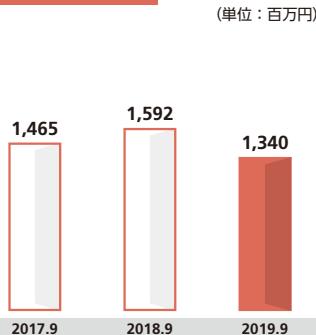
売上高比率



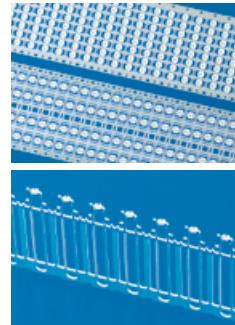
オプト用リードフレーム

売上高 13億4千万円（前年同四半期比15.8%減）

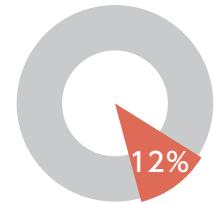
売上高推移



当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。前年に好調でありました自動車向け部品や、大型ディスプレイ及びアダプタイズメント等の設備向け部品が、昨年末以降に在庫調整局面に転じました。その結果、当製品群の売上高は13億4千万円（同15.8%減）となりました。



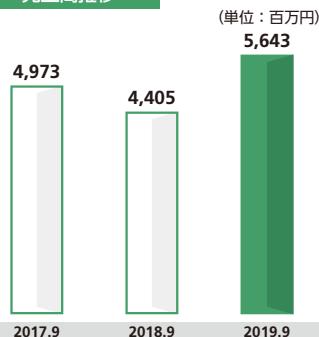
売上高比率



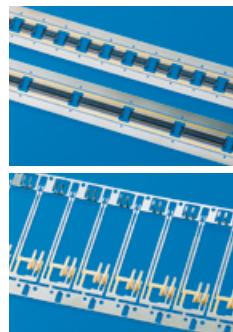
コネクタ用部品

売上高 56億4千3百万円(前年同四半期比28.1%増)

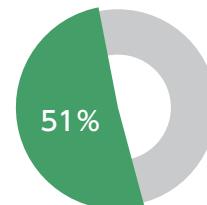
売上高推移



当製品群は、自動車向け、モバイル端末向けが主なものであります。自動車向け部品は堅調に推移したほか、ウェアラブル端末向け等の新たな需要の増加が見られました。その結果、当製品群の売上高は56億4千3百万円(同28.1%増)となりました。



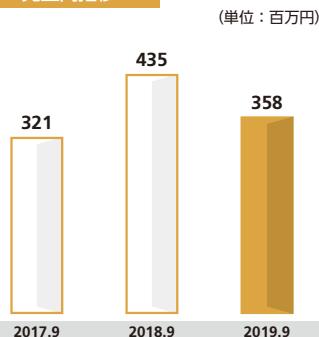
売上高比率



その他

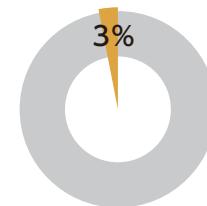
売上高 3億5千8百万円(前年同四半期比17.6%減)

売上高推移

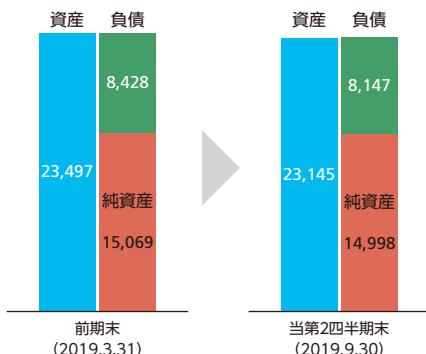


その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は3億5千8百万円(同17.6%減)となりました。

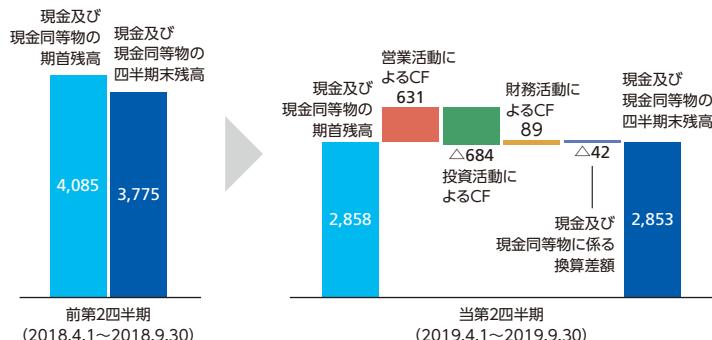
売上高比率



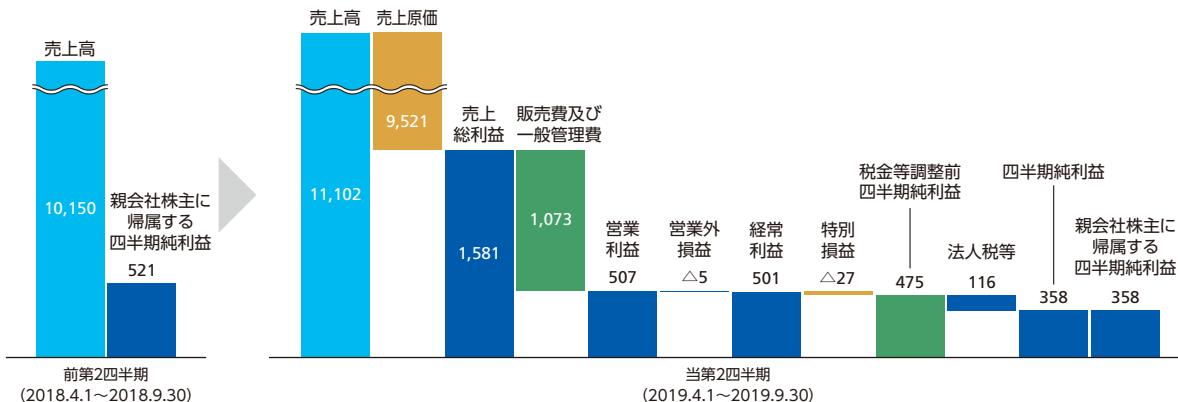
■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT!

(連結貸借対照表)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ3億5千2百万円減少し、231億4千5百万円となりました。流動資産は、売上債権の増加及び棚卸資産の減少により前期末に比べ7千1百万円減少の124億1千2百万円となり、固定資産は、有形固定資産の減少により前期末に比べ2億8千万円減少の107億3千3百万円となりました。

一方、負債合計は、前期末に比べ2億8千万円減少し、81億4千7百万円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

また、純資産は為替換算調整勘定の減少により149億9千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は64.7%となりました。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ9億2千2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には28億5千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億3千1百万円(前年同四半期は1億9千3百万円の取得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億7千5百万円の計上及び減価償却費8億5千2百万円による資金の増加、仕入債務の減少5億1千8百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億8千4百万円(前年同四半期は6千7百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6億6千8百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は8千9百万円(前年同四半期は4億3千6百万円の使用)となりました。これは主に長期借入による収入5億円による資金の増加、配当金2億3千8百万円の支払による資金の減少によるものであります。

■株式の状況

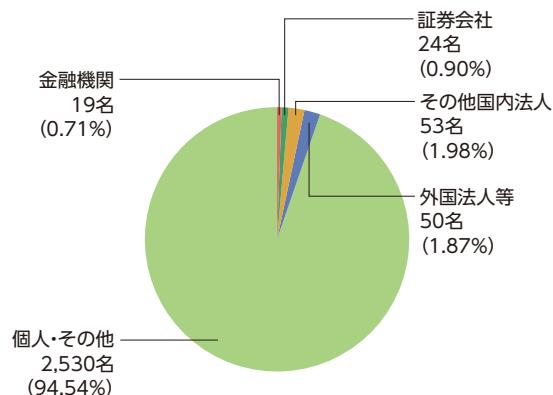
発行可能株式総数 15,000,000株
 発行済株式の総数 6,865,360株
 株主数 2,787名

大株主

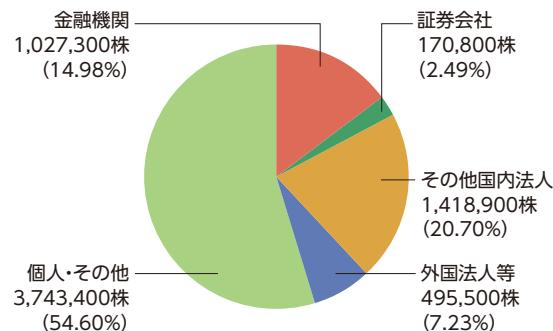
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社エノモト興産	630,260	9.2
有限会社エムエヌ企画	420,328	6.1
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	332,000	4.8
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	218,600	3.2
エノモト従業員持株会	134,992	1.9
KBL EPB S.A. 107704	134,100	1.9
榎本寿子	128,104	1.8
櫻井妙子	128,060	1.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	99,500	1.4
松岡憲一	96,400	1.4

(注) 持株比率は自己株式(57,369株)を控除して計算しております。

所有者別単元株主数比率



所有者別単元株式数比率



■会社概要 (2019年9月30日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,749,333千円
従業員数	471名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	武内 延 公	執行役員	小 俣 芳 弘
常務取締役	白 鳥 誉	執行役員	山 下 久 幸
常務取締役	久 嶋 光 博	執行役員	磯 部 千 春
取締役	櫻 井 宣 男	執行役員	小 川 秀 雄
常勤監査等委員(社外)	加 藤 正	執行役員	渡 邊 芳 明
監査等委員(社外)	八 巻 佐 知 子	執行役員	中 村 隆
監査等委員(社外)	氏 家 美 千 代		

■国内拠点

本社	〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111 FAX 0554 (63) 4193
営業部	〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5112 FAX 0554 (62) 4319
本社工場	〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地 TEL 0553 (32) 1111 FAX 0553 (32) 1159 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5115 FAX 0554 (62) 4089
津軽工場	〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1 TEL 0173 (33) 0570 FAX 0173 (34) 5206
岩手工場	〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地 TEL 0193 (42) 8511 FAX 0193 (42) 8513

■海外拠点

エノモトフィリピンマニュファクチュアリング インコーポレーテッド ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.
益能達 (香港) 精密有限公司 ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd.
中山益能達精密電子有限公司 ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

ホームページのご案内

<http://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



～「水素社会の実現」に向けて～ グリーンローン調達に関するお知らせ

SDGsとの関連性



当社は本年9月30日、山梨県及び山梨大学と産官学一体で連携し推進する「水素燃料電池の主要部品である、ガス拡散層一体型金属セパレータ」の研究開発及び製造ラインの確立（以下、「本プロジェクト」）のための資金を、グリーンローンで調達いたしました。

グリーンローンは国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則」、ローンマーケット協会（LMA）及びアジア太平洋地域ローンマーケット協会（APLMA）が定める「グリーンローン原則」に則ることを第三者機関で適合評価を受けたプロジェクトのみが適用可能な資金調達方法です。

この度、当社が山梨県・山梨大学と協働している本プロジェクトの研究開発、製造、実用化について、第三者機関である株式会社日本総合研究所の適合評価を得ることで調達を実行できました。

当社は既存の技術を土台に、新たな水素燃料電池スタック及びシステムを創出し、電源及び水素燃料電池自動車等への展開により、環境に配慮した水素社会の実現へ貢献して参ります。

GDL一体化平板セパレータ“FMSG⁺”の特徴

特徴比較

高価セパレータ

- 高価素材必須
(炭素コートTi, AuメッキSUS)
- 多段プレス流路成型

高価ガス拡散層 (GDL)

- 炭素ファイバ (CF) 高温焼成紙
- 加圧空気供給下 $\approx 2A/cm^2$



安価セパレータ

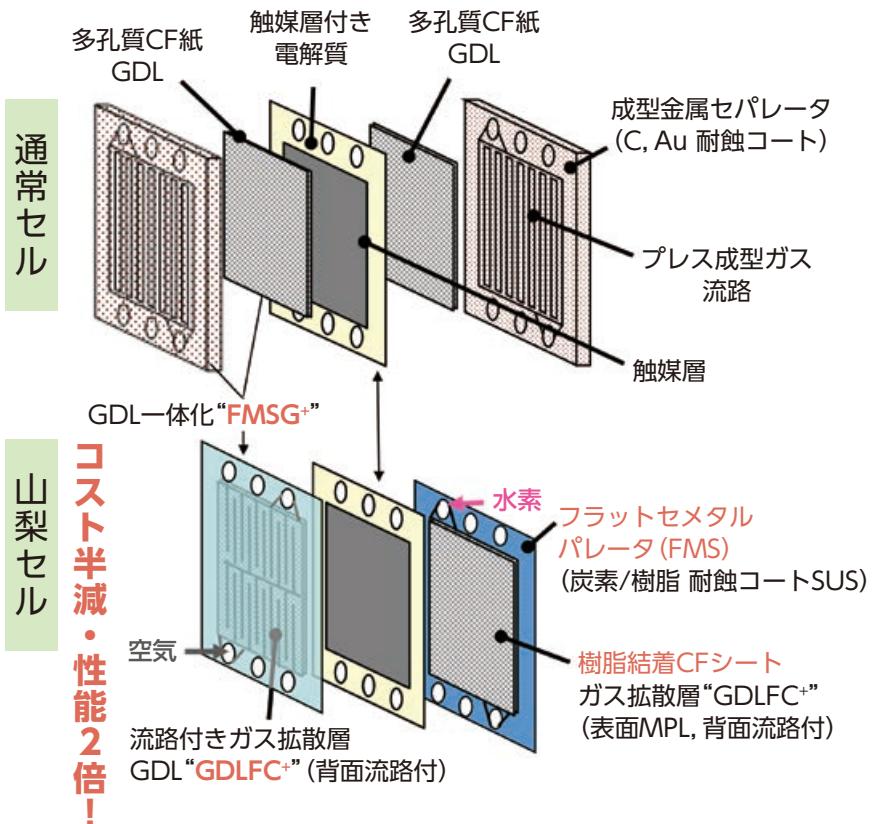
- 高価素材不要
(高耐蝕C/樹脂コートSUS)
- 非プレス平板SUS

安価GDL

- 安価CFの樹脂結着シート
- 流路付ガス拡散層 (GDLFC⁺)
- 常圧空気供給下 $> 4A/cm^2$

一体化 (FMSG⁺)

- アセンブリ簡素・低コスト化
部品点数 5点 \Rightarrow 3点



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設され
ました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住
友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申
出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算
書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」
を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料
としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株
主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等
にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につしま
しては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpに空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

